

環境保全の取り組み強化

日精ピーアールグリーン電力購入倍増

日精ピーアール（東京都千代田区、中村慎一郎社長、03・5835・2711）は、環境保全の取り組みを強化する。3年後をめどにグリーン電力購入を現在の2倍の5万キロワット時に増やし、二酸化炭素（CO₂）換算で2万4000キロワットを削減する。全館照明の発光ダイオード（LED）への切り替えや、太陽光発電システムを積極的に導

入していく。東京電力からの購入よりグリーン電力は割高で、同電力購入費用は年間約60万円になる。「コストをかけてでも、地球環境の保全に貢献していく」（小倉道夫総務・営業担当特命推進役）姿勢を打ち出す。

このほか、東京都足立区の保木間プリテックセンターの全館照明を発光ダイオード（LED）照

明に切り替える。製本室の照明については、切り替え済みで、残り4室の55本分を3年以内に切り替える。また、5年後には同セ

ンターの屋根に太陽光発電システムを取り付ける計画。緊急停電時は15分程度の自家発電が可能という。これらを合わせて約300万円強の投資を見込む。

同社は、湿し水を使わない高精細印刷を得意とする印刷会社。